

市政運営について



谷津 由尚

質問 行財政運営について、十年先までを見通した「長期市政運営マスタープラン」を策定することで、長期的な方向性を明確にし、市民に解りやすい市政とすべきと考える。また、十年先までの計画を明確にした財政運営の必要性を感じている。そのための専門組織を設置し、これからの取組をすべしと考えるが、どうか。

答弁 「長期市政運営マスタープラン」は、まちづくりの最上位に位置する総合計画を意味するものと考えられ、議会の議決が必要と思われる。現在、総合的かつ計画的な行財政運営を図るための基本構想に関しては、社会情勢の変化に対し、基本計画や実施計画の策定を通じ、弾力的に補完、修正等を行うことができるかとされており、また、各課所が策定する分野別の個別計画でも、状況の変化に対応した見直しや改定等を適宜行っている。なお、マスタープランの毎年改定は、作業上も大変厳しいと思われる。現実的には従来の手法に

頼らざるを得ないと考える。専門部署等を含めた組織の在り方については、検討してみたい。また、技術的な見直しなど提案については、研究させていただきたい。

御陵下・瀬ノ岡線の道路拡張について



森永 靖子

質問 隈之城高城線が本年四月に開通するのに伴い御陵下・瀬ノ岡線の交通量が今にも増して多くなることは必至である。後牟田入口までの百メートル余りの魔のS字カーブといわれる恐怖のこの道路は京セラ工場、職業訓練校、総合運動公園へと続く道路でもあり地元住民通勤通学者にとつて道路拡張はたつての願いである。拡張の考えは。

答弁 隈之城高城線の整備は、御陵下・瀬ノ岡線から県道吉川・川内線までの事業区間が約七百六十mで一応終了、残りの国道二六七号までは未着手である。この路線は、通過車両が大変多くなると予想され、後牟田川と並行している道路路であり、一方は河川、一方は

住家が建ち並ぶということ、これを改良するとなると、相当な経費がかかることが見込まれる。そこで、路肩の補強や法面の伐採等により、幾らかでも幅員を確保できないか、離合場所が確保できないか、調査、検討させてみたい。



隈之城高城線

特定目的基金・入来温泉センター施設建設基金に関すること及び温泉施設と観光振興とのかわりについて



上野 一誠

質問 この基金は、旧入来町において温泉施設建設のために一億二

千万円の基金を設置した。本事業は、温泉場区画整理事業と並行して進めていくことから、関係する課所と連携する体制は必要不可欠といえる。事業見直し、仮換地指定も終え、温泉施設建設に着手していく状況にある。温泉場振興や活性化、観光振興も期待される。市長の見解は。



入来地区

答弁 入来区画整理推進室に事務局を設け、知識副市長を本部長とする入来温泉場まちづくり推進本部を立ち上げ、全庁的に取り組むたい。面的整備には、今後、入来温泉場地区土地区画整理事業に年間五億円を予定しており、一般財源では当面一億円を充当する。温泉施設と観光振興のかわり合いについては、推進本部で十分検討させたい。